はじめに

早稲田大学学生部では、毎年大規模な「学生生活調査」を実施しています。学生生活の実態と傾向を把握し、その結果を学生生活支援の施策を検討する際の基礎資料として活用しています。皆さんが充実した学生生活が送れるように、実際、どのような学生生活を送っているか、学習・研究環境は整備されているのか知らなければなりません。

今年で29回目を迎える調査ですが、例年、調査対象者の3割の方々に回答をいただく調査で、早稲田大学の全体像を知る唯一の貴重な資料となっています。

具体的には、皆さんの学習サポートサービスの場として誕生した7号館1階にある「早稲田ポータルオフィス」です。2005年の「学生生活調査」結果から大学に対する工夫改善の希望として、事務窓口受付対応の悪さがあげられ、学生窓口の対応を考え直すきっかけとなりました。こうした皆さんの声をより多く集めるために、今年度の調査には、従来のアンケートの「その他」の選択肢に具体的に回答してもらうための欄も用意し、さらに「学部・研究科の学生サービスなどについて」の自由記述欄を設けました。批判の声も含め、皆さんの貴重な意見を真摯に受け止め、関係個所に働きかけを行いながら改善につなげていきたいと考えます。

今年度の調査は、「第1章 教員・授業・勉強・研究について」、「第2章 将来設計(キャリアプラン)と準備について」、「第3章 心身の健康と学生生活について」、「第4章 学部学生について(学部学生のみ)」、「第5章 大学院学生について(大学院学生のみ)」、「第6章 早稲田大学について」の全6章で、各章の「まとめ」と「特徴と要約」で構成されています。

皆さんの気になる進路については、「第2章 将来設計と準備について」の章ふれています。希望進路や進路の決定時期、将来設計への準備など、ほかの人はどうしているのか参考にしてみたいでしょうか。

資料の「要約と特徴」の分析と執筆は、理工学術院 大河内 博(第1章)、スポーツ科学学術院 誉田 雅章(第2章)、社会科学総合学術院 横野 恵(第3章)、文学学術院 高橋 透(第5章)各先生にお願いしました。

2010年10月21日

学生部長 島田陽一